

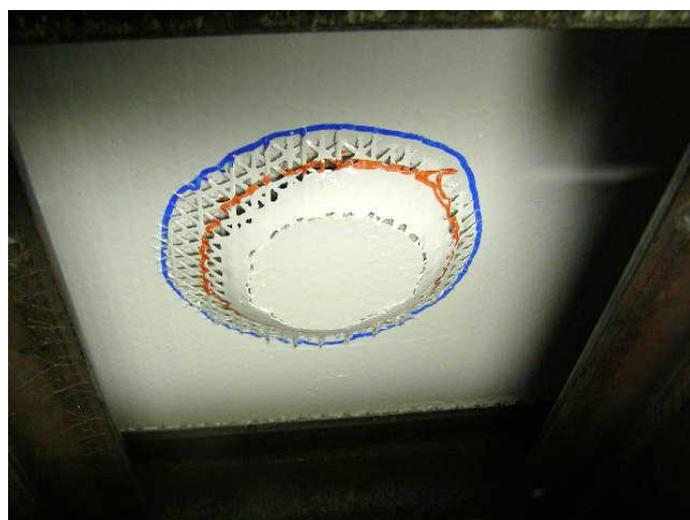
☆NEXCO構造物施工管理要領・性能照査完了工法☆
工程短縮コンクリート片はく落防止対策システム



ライフテックスP-Ⅱ工法

従来の工法※よりも**工程を5工程に短縮**した「ライフテックスP-Ⅱ工法」は、三軸ポリオレフィン複合繊維シートとエポキシ樹脂によるコンクリート片はく落防止対策工法で、**押抜き変位10mm以上で押抜き荷重1.5kN以上**を高温(50℃)から低温(-30℃)までの厳環境に対応します。NEXCO中・東・西日本高速道路(株)の構造物施工管理要領「はく落防止工」の性能照査を完了し、橋梁・トンネル内どちらにも使用できる工法です。

※)弊社ライフテックスP-FRP工法



■ 特 長 ■

1. 従来のライフテックスP-FRP工法※と比較し、工程を6工程から**5工程に短縮**しました。
2. 強度、弾性率に優れた三軸ポリオレフィン複合繊維シートの採用により、高温(50℃)から低温(-30℃)まで、押抜き変位10mm以上で押抜き荷重1.5kN以上に対応します。
3. 三軸ポリオレフィン複合繊維シートは、耐アルカリ性に優れており、劣化しにくく、長期的にはく落防止機能を発揮します。
4. 三軸ポリオレフィン複合繊維シートは、ビニロン繊維シートと比較し、薄く、軽量のため、施工性に優れ、エポキシ樹脂接着剤の使用量を低減することができます。
5. トップコートに耐候性に優れた土木用防汚材料Ⅰ種適合の低汚染形ポリウレタン樹脂塗料を採用し、長期的に美観を保持します。

■ 適用規格 ■

- 東日本高速道路(株)・中日本高速道路(株)・西日本高速道路(株)／「構造物施工管理要領」はく落防止工
- 東日本高速道路(株)・中日本高速道路(株)・西日本高速道路(株)／「トンネル施工管理要領」小片はく落対策工
- 国土交通省／「土木用防汚材料利用技術ガイドライン(案)」土木用防汚材料Ⅰ種

■標準塗装仕様 ライフテックスP-II工法（一般仕様）■

工程		製品名	一般名称	塗布量(kg/m ²)	
下地処理工		・ディスクサンダー等により、下地のエフロレッセンス、型枠離型材、汚れおよび表面の脆弱層を除去する。養生テープ等を使用して、施工箇所以外を養生する。			
はく落防止工	1	プライマー	ライフテックス#750S	エポキシ樹脂系プライマー	0.15
	2	接着工	ライフテックス V-SE(16)S	エポキシ樹脂パテ	0.60
	3	貼布工	シムテックス SCM1810A	三軸ポリオレフィン複合繊維シート	1.0 m ²
	4	接着工	ライフテックス V-SE(16)S	エポキシ樹脂パテ	0.30
仕上げ工	5	上塗り工	ライフテックス#70	ポリウレタン樹脂系塗料	0.12

※上記の塗布量にロスは含まれていません。(現場においてはロスを考慮ください。)

※ライフテックスP-II工法(冬仕様)もあります。

※詳しくは、標準塗装仕様書をご参照ください。

■ライフテックスP-II工法の性能■

性能照査項目	試験温度	P-II工法 (一般仕様)	P-II工法 (冬仕様)	基準値	試験方法
はく落防止押抜き性能	-30℃	2.39kN	3.39kN	1.5kN以上	試験法 424
	+23℃	2.43kN	2.60kN		
	+50℃	2.29kN	2.55kN		
プライマーのひび割れ含浸性能	23℃	3.30N/mm ²	3.57N/mm ²	2.0N/mm ² 以上	試験法 426
はく落防止耐久性能	—	1.55kN	2.24kN	1.5kN以上	試験法 425
塩化物イオン透過性	—	0.0024g/m ² ・日	0.0017g/m ² ・日	0.005g/m ² ・日以下	

■使用材料■

製品名	用途	配合比(重量比)	容量(荷姿)
ライフテックス#750S	ひび割れ含浸プライマー	主剤/硬化剤=2:1	12kg セット(8kg/4kg)
ライフテックス#750W	ひび割れ含浸プライマー	主剤/硬化剤=2:1	12kg セット(8kg/4kg)
ライフテックス V-SE(16)S	繊維接着・含浸	主剤/硬化剤=2:1	12kg セット(8kg/4kg)
ライフテックス V-SE(16)W	繊維接着・含浸	主剤/硬化剤=2:1	12kg セット(8kg/4kg)
シムテックス SCM1810A	三軸ポリオレフィン複合繊維シート	—	1m幅ロール×100m
ライフテックス#70	仕上げ材(上塗り)	主剤/硬化剤=4:1	16kg セット(12.8kg/3.2kg)

■施工上の注意事項■

- 材料の混合には必ず電動攪拌機を使用し、混合比、配合には十分に注意してください。
 - 材料は、塗装間隔を守り、可使時間内に使用してください。
 - 炎天下や降雨時、結露の恐れがある場合は、施工に注意してください。
 - 結露が発生した疑いのある場合は、次工程塗装前に必ずペーパー処理等の面荒らしを十分に行ってください。面荒らしが十分の場合は密着不良等の欠陥の原因となります。
 - 材料は、消防法に則り、直射日光のあたる場所を避け、温度変化の少ない場所に保管してください。
 - 残った材料、洗浄排水、ウエス等は、産業廃棄物として専門の処理業者と相談して処理してください。
 - 気温-5℃以上で塗装可能ですが、塗装後気温5℃未満が継続する場合は、硬化反応が著しく低下します。
- ※詳しくは施工要領書をご参照ください。
 ※品質改良のための、製品の性能、仕様などを予告なしに変更する場合がありますのでご了承ください。
 ※当カタログ中の物性表は、測定平均値の一例であり、規格値ではありません。

アトミクス株式会社

■道路事業部 〒174-0041 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL(03)3969-1552(直通) FAX(03)3968-7300

■営業部 〒174-0041 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL(03)3969-1552(直通) FAX(03)3968-7300	■広島営業所 〒739-1734 広島市安佐北区口田1丁目8-17(小夫家ビル) TEL(082)845-2202 FAX(082)845-2203
■大阪支店 〒574-0053 大阪府大東市新田旭町2-22 TEL(072)872-3111 FAX(072)872-1222	■福岡営業所 〒816-0863 福岡市博多区金の隈1丁目33-31 TEL(092)503-5200 FAX(092)503-5308
■札幌営業所 〒001-0014 札幌市北区北十四条西1-2-5(三晃ビル403号室) TEL(011)738-6070 FAX(011)738-6071	■久喜工場 〒346-0101 埼玉県久喜市菟淵町昭和沼6(久喜菟淵工業団地内) TEL(0480)85-7931 FAX(0480)85-3112
■仙台営業所 〒982-0012 仙台市太白区長町6-8-7(ハイコートアイ1F) TEL(022)249-7371 FAX(022)249-7372	■岡山工場 〒708-1312 岡山県勝田郡奈義町柿502-11(東山工業団地内) TEL(0868)36-7000 FAX(0868)36-7010
■新潟営業所 〒950-0982 新潟市中央区堀之内南2-19-14(和合ビル) TEL(025)244-8011 FAX(025)244-8012	■加須工場 〒347-0017 埼玉県加須市南藤崎1-12-1(加須工業団地内) TEL(0480)65-1159 FAX(0480)65-7146
■名古屋営業所 〒462-0043 名古屋市中区八代町1-9(北村ビル2F) TEL(052)914-3900 FAX(052)916-0892	●本社 〒174-0041 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL(03)3969-3111(代表) FAX(03)3968-7300

※品質改良などのため、製品の性能、規格等を予告なしに変更する場合がありますのでご了承ください。

※当カタログ中の物性表は、測定平均値であり、規格値ではありません。